

稲門フィラテリー

第 122 回 切手教室

開催日 平成 28 年 3 月 5 日 (土)

時 間 午後 1 時 30 分～ 3 時

会 場 新宿北郵便局 4 階 402 会議室

内容 「バーコード付き切手」

講師 本間 秀雄

バーコード付き切手 8 種

発売指定 普通局

10 円 川崎中央・50 円 横浜中央・80 円 横須賀・90 円 鎌倉

100 円 茅ヶ崎・130 円 横浜港・190 円 藤沢・270 円 鶴見



バーコード付き普通切手

郵政省は「コンビニエンス・ストア等」で販売する切手を管理するために、従来の通常切手シート（8種類）の余白、上下左右の4隅にバーコードを印刷し、平成8年6月10日から9月30日まで期間を限定し、横浜中央局及び川崎中央局を中心に、神奈川県内の18局（普通局8局・特定局10局）で実験的に発売された。

この切手に付いては、事前の「報道発表は一切なかった。」ので正確な発行枚数は確認されてないが、平成14年7月号の「切手研究」で発表されている「印刷局の納入計画」と、牧野氏の発表（ゲーベル計数から推定された数量。）では、大幅な違いがあり正確な発行枚数は確認されていない。

8種類の中で、10円と100円は「'80年シリーズ」だが他の6種類は「平成切手」で製造面での最大の特徴は、4隅に印刷されたバーコードと共に、上下の余白が従来のシートとは違い上辺が狭く下辺が広がっている。つまり、このシートは上下の余白がほぼ同じ寸法になっているので、カラーマークと銘版は単片でも分かりやすいが、上下の余白が付いてなければ区別は付かない。

バーコード付き切手の種類（何れも100面シート）

10円（フクジュソウ）・50円（メジロ）・80円（ヤマセミ）

90円（カルガモ）・100円（銀鶴）・130円（ウソ）

190円（サギソウ）・270円（カワラナデシコ）

「発 売 局」

普 通 局 横浜中央・川崎中央・鶴見・横浜港・横須賀・鎌倉
藤沢・茅ヶ崎（以上8局）

特 定 局 川崎小倉・川崎田尻・神奈川サイエンスパーク内
横浜弘明寺・横浜岸谷・横浜太尾・横浜霧が丘
横浜桜台・横浜汐見台・横浜釜利谷西（以上10局）

バーコード付き切手と普通切手の違い

カラーマーク上下及び銘版の比較

左がバーコード付き・右が普通切手（何れも'80年シリーズ）

カラーマーク上

バーコード 普通

カラーマーク下

バーコード 普通

銘版

バーコード 普通



カラーマーク上

バーコード 普通

カラーマーク下

バーコード 普通

銘版

バーコード 普通



バーコード付き切手製造量

切手別	現行切手例会報告	印刷局納入計画	ゲーベル計数からの推定
10 円	300 万枚	100 万枚	410.4 万枚
50 円	200 万枚	200 万枚	255.3 万枚
80 円	600 万枚	* 600 万枚	982.7 万枚
90 円	400 万枚	* 400 万枚	514.2 万枚
100 円	100 万枚	* 100 万枚	129.3 万枚
130 円	100 万枚	100 万枚	120.7 万枚
190 円	100 万枚	100 万枚	111.7 万枚
270 円	100 万枚	* 100 万枚	109.7 万枚

* 印の各額面に見本券 2 万枚を含む。

* 見本切手の存在は初情報で、逓信総合博物館にも納付されていないようである。

「ゲーベル計数からの推定」は、12 名からの「萬台計数耳紙の情報」提供で集計されたものです。

以上は、「切手研究」413~415 合併号から転載させていただきました。